

県立学校における新型コロナウイルス感染症対策の対応について

令和2年5月14日
宮崎県教育委員会

政府の緊急事態宣言の対象地域解除を受けて、これまでの対応から次のとおり変更する。

1 対応について

5月25日（月）の学校再開に向けた、段階的な取組をさらに進める。
そのために、各学校において「宮崎県立学校における新しい生活様式」の実践に取り組むとともに、実践が可能な学校においては、5月20日（水）より全学年を対象とした連日の登校日の設定、部活動の一部再開を認める。

※宮崎県立学校における新しい生活様式（以下「生活様式」という）

5月25日（月）からの学校再開に向けて、国が示した「新しい生活様式」を参考に、今後、児童生徒等が生活の中で取り入れていく取組を示したもの

（1）全学年を対象とした連日の登校日の設定について

- 「生活様式」の実践が可能と校長が判断した場合は、20日（水）から全学年を対象とした連日の登校日の設定を認める。
- 「生活様式」については、25日からの学校再開時の感染拡大防止策として、各学校において可能な限り実践することとなるので、全学年を対象とした連日の登校日の設定の有無にかかわらず、必ず臨時休業期間中に、保護者及び児童生徒等に対して周知・指導を行うこと。
- 特別支援学校については、引き続き、児童生徒等の障がいの種類や程度等を踏まえた検討を行った上で、登校日の実施については判断すること。

（2）部活動について

- 感染拡大防止策を取った上で、登校日を設定している日に限り、活動を認めることとする。
- 分散登校を行う際は、登校した者のみの活動とすること。
- 原則として学校単位で行うこと。

2 その他

- 今回の対応について、児童生徒等及び保護者へは学校からホームページやメール等で周知すること。
- 登校日の実施にあたっては、文部科学省初等中等教育局長通知（別添写し）の「（2）各教科等の指導における感染症対策について」等を参照し、感染拡大防止に努めること。
- 対応方針は、今後の国の動向や感染の状況等を見ながら総合的に判断し、適宜見直すこととし、5月25日（月）以降の対応等を含め、5月21日（木）までに連絡を行う。

宮崎県立学校における新しい生活様式

5月25日からの学校再開に向けて、国が示した「新しい生活様式」を参考に「宮崎県立学校における新しい生活様式」を作成しました。

各学校においては、感染拡大防止策として、実践が徹底できるよう準備等をお願いします。

1 登下校等の対策

(1) 家庭と連携した検温及び健康観察シート等を活用した健康管理を行う。

登校前に確認できなかった児童生徒等は、登校後に必ず保健室等で検温を行う。

(2) 登下校では、症状がなくてもマスクを着用する。

授業における手作りマスクの製作など入手が困難な児童生徒等への対応を図る。

(3) 登下校直後の手洗いをを行う。

登校後、帰宅後は30秒程度かけて水と石けんで手を洗うよう指導する。

2 授業等の対策

(1) 校内では、症状がなくてもマスクを着用する。

授業における手作りマスクの製作など入手が困難な児童生徒等への対応を図る。

(2) 教室の換気をこまめに行う。

休み時間以外に、授業中も定期的に行う。

(3) 毎時間の授業開始時に健康観察を行う。

教科担任が児童生徒等の健康観察を行い、授業を開始する。

(4) 活動時における児童生徒等の身体的距離の確保を行う。

教室内の座席や集会等の整列時など可能な限り間隔を空ける。

(5) 児童生徒等が対面とならないような形で活動を行う。

授業や昼食時には対面となるような活動等を避ける。

3 放課後・部活動等の対策

(1) 部活動を除く、放課後の不要不急の活動等については極力控える。

実施する場合は、授業等の対策と同様に感染拡大防止策を徹底し、長時間の活動は行わない。

(2) 部活動の開始前には、健康観察を行う。

部顧問が児童生徒等の健康観察を行い、部活動を開始する。